

《学校評価シート（高等学校）》

①

評価領域

教務部

| | | | | |
|---|------------------------------|--|---|---|
| ② | 重点目標 | ・基礎的・基本的学力の定着のための指導力の向上を図る。 | | P |
| ③ | 現 状 | ・昨年度の授業評価では『総合的に学ぶことが「楽しい」、「やる気が出る」と思える授業ですか』の項目が相対的に低く、主体的に学ぶ意欲の喚起が必要である。 | | |
| ④ | 具体的な目標 | ・「わかる」とうれし、自信がつく体験を授業中に設定し、自分から学びたくなる授業を実践する。 | | |
| ⑤ | 目標達成のための方策 | ・授業の到達点と道筋を視覚化するために、授業の到達目標と流れを提示する。教員と生徒の信頼関係を構築するために、規律ある雰囲気の中で授業が行われるようにする。「主体的・対話的で深い学び」のためにICTを活用する。 | | |
| ⑥ | 具体的な取組状況 | ①年度当初に「具体的な目標」と、「目標達成のための方策」を職員会議で共有し、セルフチェックシートを作成した。②授業アンケートを年2回実施し、年度内に授業改善の意識づけを行えるようにした。③ICT活用に向けて職員研修を行い、教員向けに活用カタログを作成した。④授業改善旬間を設定するなど年間を通して授業改善をシステム化し、計画的に行った。 | | |
| ⑦ | 達成状況 | ・授業評価の『総合的に学ぶことが「楽しい」、「やる気が出る」と思える授業ですか』の項目が49.9%から64.5%に上昇した。 | | |
| ⑧ | 自己評価 | (評価) A | (根拠) ・職員間で目標や方法を共有できるように複数の仕掛けを行うことができた。各職員が共通の課題に向かって取り組むことにより数値の改善につなげることができた。 | C |
| | | ↑ 評価基準 A：具体的な活動がなされ目標を達成できた B：具体的な活動はなされているが、目標は達成できていない ↓ C：具体的な活動がなされておらず、目標も達成できていない | | |
| ⑨ | 学校関係者評価と意見 | (評価) A | (意見) 授業参観の様子から理解できない生徒をサポートしながらわかりやすく楽しい授業をするように先生方は工夫をしているとの評価をいただいた。 | C |
| ⑩ | 自己評価及び学校関係者評価に基づいた改善策 | 授業改善については少しずつ意識を向けることができたと感じている。継続的に行っていききたい。一方、学力向上や学習に向かう姿勢について改善が必要。学期ごとの学習状況調査、資格取得カレンダーの作成、朝学について学年部との連携を来年は行っていききたい。 | | |